

大学生と農山漁村との連携事例



神戸大学

実施主体名: おおじみそプロジェクト

担当窓口

神戸大学大学院農学研究科
食科環境経済学講座 助教 小川 景司

URL

<https://mitsuoji.org/>



活動内容

「おおじみそプロジェクト」は、丹波市春日町大路地区の地域住民によって20年以上にわたり原料生産と加工製造が行われている「おおじみそ」づくりの継続的な取組に向け、神戸大学実践農学の一環として2024年に立ち上げられた。

学生は、生産者の高齢化や原料の供給が安定しないといった課題に、みそを生かした加工品開発や販路拡大などを模索し、地域の方々から大豆栽培やみそづくりなどを学びながら、地域活性化の方法や課題解決策の提案などに取組んでいる。



きっかけ

「おおじみそ」の原料となる大豆の生産、加工、販売を行う「一般社団法人みつおおじ」（大路地区）から、若い人の力添えにより、知名度を高め、みそ造りに参加していただける人を増やしたいとの相談があり、学生が中心となる同プロジェクトが開始され、地域の課題解決に乗り出した。



展望

「おおじみそ」づくりの継続的発展に向け、学生の発案によるみそ加工品の開発や大学構内での販売により付加価値を向上させることや、大豆生産やみそ製造の拡大のため、大豆の栽培支援や学校給食にも利用されている地域ブランドとしての認知度を高め、地域活性化につながる活動としたい。



みそづくりワークショップ



おおじみそ加工グループとの意見交換



大豆ほ場での草かじき作業